

参加
無料

海の危機！？

マイクロプラスチックの実態と解決法



長さが5mm以下の小さなプラスチック片であるマイクロプラスチックやナノプラスチックは、世界中の海に存在しており、長崎の海域にも多く存在します。微細な粒子が海の生物や生態系にどのような影響を与えているのか、私たちの生活に関わるかについて解説していただき、課題、対策、ビジネス化の可能性について考えます。

講師



中谷久之 教授 長崎大学工学研究科

東京工業大学大学院修了、博士(工学)。北見工業大学教授等を経て14年より現職。19年より長崎大学海洋未来イノベーション機構海洋エネルギー開発研究部門教授兼務。プラスチックの合成、劣化・安定化の研究に約30年間取り組み、最近では、マイクロプラスチックの生成機構解明を中心に研究を行う。



八木光晴 准教授 長崎大学水産・環境科学総合研究科

九州大学大学院生物資源環境科学府博士課程修了。博士(農学),海技士(航海)。長崎大学水産学部・助教を経て18年より現職。練習船に5年間乗り込み、様々な海を旅し、海洋ゴミから深海生物のオオクゾクムシまで幅広く研究。現在は、主にマイクロプラスチックに関する研究。日本動物学会川口賞、日本比較生理生化学会奨励賞受賞。



金禧珍 准教授 長崎大学水産・環境科学総合研究科

韓国釜山出身。韓国釜慶大学卒業。韓国国立水産科学院インターン研究員勤務。その後、長崎大学大学院生産科学研究科海洋生産科学専攻修了。博士(水産学)。18年より現職。動物プランクトンの生物・生態学的研究を中心に、昨今はマイクロプラスチック等の環境汚染が与える海洋のマイクロ生態系への影響を研究。

ファシリテーター (トークセッション)



経塚 雄策 特定教授 長崎大学海洋未来イノベーション機構

海洋工学で波浪中の浮体運動等を研究し、90年頃から海洋環境問題に関係した海洋観測やシミュレーションを行ってきた。05年頃から潮流発電の開発研究を行い、生月島や五島において実験を実施してきた。昨今では、海洋マイクロ/ナノプラスチック問題、対策に関連した活動を実施。

2022年

12月5日 月

15:00~16:30

講師3名からの講演 & トークセッション

参加申し込み

参加費：無料

開催方法：オンライン開催 (Zoom)

申込方法：Webサイトより受付

<https://krs.bz/smrj-hp/m/1653-i9>



対象者：長崎県内外企業、学生、行政・支援機関等その他関心のある方

<お申し込み締切>

12月2日(金) 12:00

<お問合せ>

D-FLAG TEL:095-811-6800

Mail:d-flag-info@smrj.go.jp